

助成事業実施報告書

団体名.....東久留米にこにこプロジェクト.....

代表者・役職名 氏名...山永 和子.....

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

東久留米にこにこプレイス

2. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度

行政が行っている学習支援事業との差別化を図るため学習支援に加え、夕食の提供も行いました。毎週木曜日と毎月一回土曜日の 17 時 30 分～20 時まで開催しました。後半は、時間より早く来る利用者が居たり、利用者のニーズで日中に開催した月もありました。場所も人数によって、だがしやかなん又はコペルプラスにて開催。参加費は一回 500 円で運営を行いました。

3. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度

7月の開設から44回の開設することができました。利用者は、増減はあったものの、小学生1人、中学生2人が継続的に参加をしました。今年度は、小学5年生から不登校状態であった中学3年生が当事業に通い、学生スタッフらと面接練習や作文添削を繰り返し行い、倍率が高い第一希望の都立高校に合格することができました。その姿を見て、不登校状態の小学生が教室に登校するようになったり、進んで意欲的に勉強したりするなど、継続的に参加している利用者にも良い影響を与えています。調理も学生スタッフが中心となり、地元の農家さんの協力を得て、旬の食材を使った夕食を提供しました。

4. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字程度

新規利用者の参加が今後の課題であり、新たなパンフレットの作成をし、近隣の小学校や中学校、地域のスクールソーシャルワーカー、市教育委員会などに情報提供を呼びかけていきます。また今後の展望として、現状の制度では高校進学が難しい不登校状態である子どもや、特別支援学級に通っている子どもなどの自己実現を導くサポートをしていきたいと思ひます。

5. 参考資料

プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等のデータ。活動の様子がわかる写真などを必ず別途ご提供ください

7/6
初回号

東久留米にここにこプレイス

ここにこプレイスは、参加する人のわからないことやもっと学びたいことを、スタッフの高校生・大学生がいっしょに取り組み、みんなで学び合う「場」です。学びのあとは、みんなで夜ごはんを食べながら雑談タイム。毎週行くのが楽しみになるような、ゆる〜い「場」にしたいと思っています。ここにこプレイスは、だがしやかなん店长・山永が監修としてサポートしています。興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

「東久留米にここにこプロジェクト」は、学生さんや若者とだがしやかなん店长・山永がいっしょに運営しているボランティアグループです。

こんな方に
ご利用
いただけます

- 中学生～ 定員4名くらい
 - 学校や進路の話をしてみたいお子さん
 - 勉強が楽しくない・やり方がわからないお子さん
 - 新しい学びを見つけたいお子さんや人
- モヤモヤしてることを一緒にスッキリしませんか？

公式LINEか
電話で
申し込んでね

料金

1回500円(税込)

日時

毎週木曜日、月1回土曜日

17:30～20:30(中学生は20:00まで)

登録制/参加したい日に公式LINEから申し込み
LINEを使っていない人は電話でも大丈夫です!



持ち物

学びたい教材、筆記用具、飲みもの、ハンカチ

開催場所・お問い合わせ先

だがしやかなん
(東久留米にここにこプロジェクト)

〒203-0052 東京都東久留米市幸町1-5-23

☎090-1045-3006(担当:山永)

※会場に駐車場はありません。駐輪場も5台くらいまでなので、なるべく徒歩をお願いします。

※長期休暇中は開催日が変更になります。詳しくはお問い合わせください。

